

efitOne Ver.1.5.0 アップデート概要

2022年3月
株式会社 ニコン・トリンプル

いつも弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
本書では、efitOne Ver.1.5.0 で追加、変更を行った機能の概要を説明します。

■ 測量計算

- ◆測量計算にトラバース計算／トラバース作成を追加しました。
 - ◆トラバース計算／トラバース作成には「閉合トラバース／開放トラバース／結合トラバース／放射トラバース」機能を含みます。
- ※トラバース計算／トラバース作成を利用するには、**測量計算オプションパッケージが必要**となります。



- メインメニューの測量計算をタップします。



- 測量計算サブメニューに**トラバース計算**／**トラバース作成**を追加しました。



- トラバース計算／トラバース作成選択後、**閉合トラバース**／**開放トラバース**／**結合トラバース**／**放射トラバース**の各機能を呼び出すメニュー構成となっております。

◆トラバース計算（閉合トラバース参考動作）

●トラバース計算に必要な初期情報（出発点等）を入力します。

●測点情報を野帳から追加します。指示方法は、**単独**/**連続**から選択します。

●測点の指示方法を**連続**にした場合、**始点**/**終点**の点番号を入力してください。
●プロジェクト作成時、座標入力を**点名のみ**にした場合、指示方法は**単独**のみとなります。

●オーバーメニューの**自動登録**の選択でトラバース計算初期情報を元に野帳データから適切なデータを抽出し、測点リストに登録します。

Point No.	HA	HD
2:	100-16-43	2.443 m
3:	89-58-10	2.570 m
4:	132-17-52	2.771 m
5:	62-18-27	2.351 m
1: a	156-02-23	3.088 m

●選択した測点データをリスト表示します。
●リストのタップで野帳データの編集が行えます。
● アイコンのタップで測点リストから対象データを削除します。
●リストを長押しし、上下方向へ移動させる事で測点データの順番を変更できます。

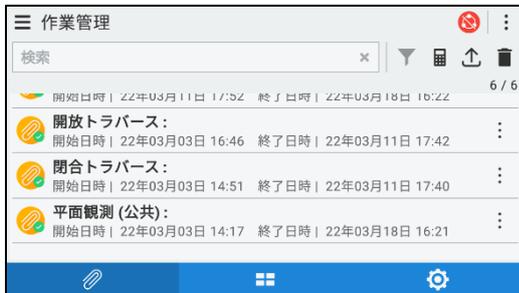
項目	値
測角合計	540-53-35
測角誤差	0-53-35
距離合計	13.223 m
距離誤差	0.962 m
測点数	5
精度	1 / 14
EX	-0.945 m
EY	0.179 m

●結果タブに計算状態 成功:  失敗:  を表示します。
●計算結果とマップ上に計算座標を表示します。**座標登録**ボタンのタップで計算座標を登録します。

◆トラバース作成（閉合トラバース参考動作）



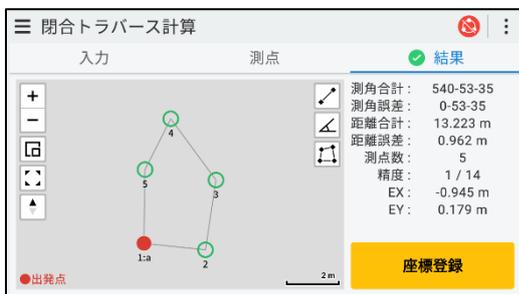
- トラバース作成では、平面観測データからトラバース作業データを作成します。
- 平面観測データへ事前に路線計算情報を入力しておいてください。



- 作成したトラバース作業を選択します。



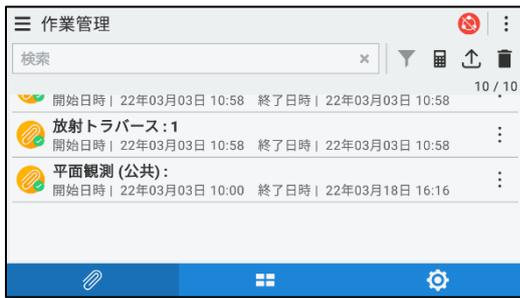
- 平面観測データ内の路線計算情報を元に初期情報を設定します。



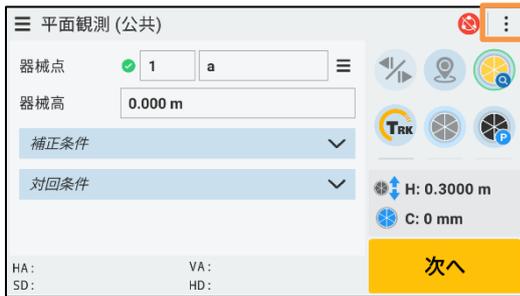
- 平面観測データ内の路線計算情報から測点データを自動登録しています。
- 結果タブに計算状態 成功:  失敗:  を表示します。
- 計算結果とマップ上に計算座標を表示します。**座標登録** ボタンのタップで計算座標を登録します。

野帳データ出力

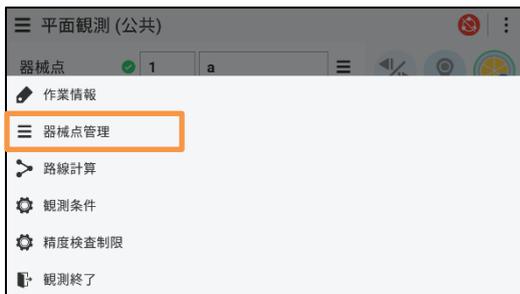
- ◆平面観測データから野帳データを作成する機能を追加しました。
- ◆トラバース計算／トラバース作成を行う際は事前の野帳登録が必要です。



●作業管理から出力対象の平面観測データを選択します。



●平面観測の器械点画面のオーバーフローメニューをタップします。



●オーバーフローメニューの器械点管理をタップします。



●器械点管理画面、 アイコンのタップで野帳データ作成器械点データの選択が可能になります。 アイコンの長押しで全ての器械点を選択します。



●出力対象の器械点を選択後、 アイコンのタップで野帳データを出します。



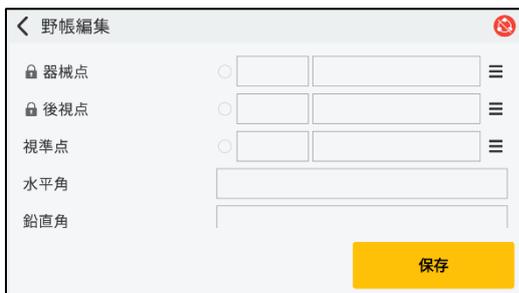
●出力した野帳データを一覧表示します。

野帳管理

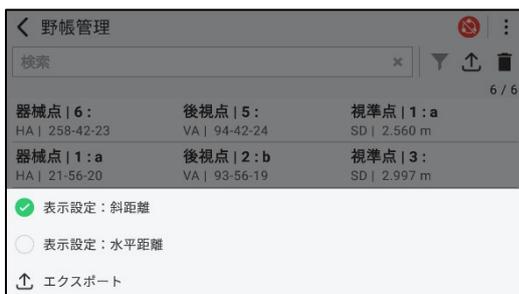
◆野帳管理をハンバーガーメニューに追加しました。



●野帳データの一覧表示／新規作成／編集／削除／エクスポート（一括・選択）機能と、リスト表示のフィルター機能を追加しました。



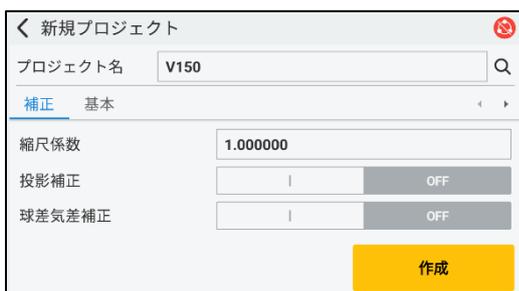
●前画面  アイコンのタップで野帳データの新規作成（手入力）が利用できます。



●オーバーフローメニューから、リスト表示の設定（斜距離／水平距離）の切り替えと、エクスポート処理が利用できます。

プロジェクト

◆新規プロジェクト画面のタブ順序を「補正」／「基本」の順に変更しました。



■ 平面観測／平面観測（公共）

◆平面観測の利便性向上のため、以下の機能を改良しました。

● 器械点単位で、個別の縮尺係数／投影補正／平均標高の設定が行えるよう改良しました。

● 器械点設定の補正条件項目に、縮尺係数／投影補正／平均標高を追加しました。

● 観測済の後視点データの測距取得状態を切り替えられるよう改良しました。

● 観測済データの計測種別（多角点／境界点／突出点／現況点）と、測距取得状態を切り替えられるよう改良しました。

● 精度検査画面の視認性向上を図るため制限範囲内の場合○アイコン、制限外の場合×アイコンを表示するよう改良しました。

● 平面観測の既存器械点情報の編集ができるよう改良しました。（平面観測（公共）の場合は編集は行えません。）

■ トラバース計算／トラバース作成利用前の確認

◆「トラバース計算／トラバース作成」利用前に、以下の操作でパッケージ情報を確認してください。



●メインメニュー／ハンバーガーメニューをタップします。



●Aboutをタップします。



●測量計算：トラバース計算／測量計算：トラバース作成が利用可能になっていない場合は、TCU5または、FZ-N1をWi-Fiに接続し購入情報を復元をタップしてください。

以上